

# 県系連携強化

第1回

世界のウチナーンチュウ会議  
 HAWAII 2003  
 ALOHA

【ホノルル1日外間聴】世界の沖縄県系人が初めて海外で集う第一回世界のウチナーンチュウ会議（主催・ハワイ沖縄連合会、WUBハワイ）は一日午前（日本時間二日午前）、ホノルル市内の東西センターで開幕した。第七回WUB（ワールドワイド・ウチナーンチュウ・ビジネス・アソシエーション）世界大会も同日午後から始まった。

## 次回ブラジルで WUBも開幕

（3面に関連）



世界10カ国から約400人が参加し、開会した第一回世界のウチナーンチュウ会議。一日午前、ホノルル市の東西センター

会議には米国本土や南米、東南アジアなど十カ国から約四百人が参加した。二日間の日程で、海外で活躍する県系人のきずなを再確認し、経済や文化など幅広い分野での新たなネットワーク構築に向け、活発な議論を繰り広げる。

今回の海外でのウチナーンチュウ会議は、二〇〇八年に移民百周年を迎えるブラジルで開催する。開会式でジョージ玉城ハワイ沖縄連合会長、ウエスリー・サカモトWUBハワイ会長が主催者あいさつし、「世界中から大きな家族が集まった。出会いを大切に、みんな

稲穂憲一知事は「沖縄からの最初の移住先のハワイに世界で活躍する県系人が集うことに、皆さんの意気込みと期待がひしひしと感じられ、心強く思う」と会議の成果に期待した。

ハワイ大学のイヴァン・ドーベル総長、前沖縄担当相の尾身幸次衆院議員からも出席した。

会議は「ウチナーンチュウのアイデンティティ」「健康と長寿」「県人会、村人会ネットワーク」「国際結婚」などをテーマにした三十二の分科会が開かれる。

開会式では、沖縄テレビの前原信一報道制作局長が基調講演した。「世

アナウンサーとして海外三十五カ国の県系人を訪ねた経験を踏まえ、「ウチナーンチュウの気質には、共生の精神や互いの民族や文化を認め合う相互理解など、国際社会に適応する思想が秘められている」と強調した。

関連事業の一環で、尾身氏が大学院大学について講演したほか、琉球大学の名誉博士号が、森田孟進学長からエヴァン・ドベールハワイ大学総長やロバート仲宗根東西センター沖縄特別プロジェクト局長ら五人に授与された。

2003年(平成15年)

9月2日火曜日

発行所 琉球新報社  
 那覇市泉崎1丁目10番3号  
 郵便番号 900-8525  
 私書箱・那覇中央郵便局  
 900-8656  
 ©琉球新報社2003年

2

10カ国  
 人参加し  
 討議開始